

**街の回遊性向上をめざして
海浜幕張エリアで次世代モビリティを活用した実証実験を開始
～電動小型モビリティの自動運転や、次世代型電動車椅子の無料貸し出しを実施～**

株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）は、千葉市と千葉大学、アイシン精機株式会社※、イオンモール株式会社と、街の回遊性向上につながる次世代モビリティの社会実装をめざして、イオンモール幕張新都心内で電動小型モビリティ「ILY-Ai（アイリーエーアイ）」を使った自動運転の実証実験を12月10日（火）から開始します。また、海浜幕張駅周辺では、次世代型電動車椅子「WHILL Model C（ウィル モデルシー）」の無料貸し出しを行い、シェアリングサービスのニーズ調査を11月9日（土）から行っています。

電動小型モビリティ＜ILY-Ai＞

次世代型電動車椅子＜WHILL Model C＞



これまで、高齢者や体が不自由な方は、歩道を中心とした屋外や施設内を移動する場合、高額な車いすを購入するなど、移動の障壁が高く、外出を諦めざるを得ない状況でした。また、高齢ドライバーを中心に自動車免許返納を検討されている市民にとっては、公共交通機関以外で安全で安価な移動手段を確保することが急務となっています。

本実証では、屋内実験として、電動小型モビリティ「ILY-Ai」に千葉大学の¹大川一也准教授が研究する自律走行エンジンモジュールを搭載し、イオンモール幕張新都心内にドコモの屋内位置情報端末（Location Net™）を設置することで、自動運転の走行テストを行います。当日は、自動運転が可能な千葉大学モデル（1台）や手動運転となるノーマルモデル（2台）を、イオンモール幕張新都心の来店者に試乗いただきます。ドコモは屋内における小型モビリティの自動運転実験を通じて、広大なショッピングモール内の回遊性を向上するために、来店者が小型モビリティを自由に乗り捨てし、無人で貸出地点に戻るユースケースの実現をめざします。

また、屋外実験では、株式会社ドコマップジャパンが提供する位置情報端末（DoCoMAP®）を取り付けた次世代型電動車椅子「WHILL Model C」を海浜幕張駅周辺で市民や観光客に無料で貸し出し、移動データやアンケートを収集して、シェアリングサービスの必要性や利用者の回遊性を調査します。

将来的には、さまざまな次世代型モビリティに対し、ドコモの提供する5Gの実装や、対話型AIサービスによる音声ナビの実現など、利用される場所やターゲットに応じたドコモの技術搭載をめざすことで、交通課題の解決や地方創生に貢献してまいります。

※ 「アイシン精機株式会社」は、電動小型モビリティ「ILY-Ai」の提供会社です。

* 「Location Net」は、株式会社NTTドコモの商標です。

* 「DoCoMAP」は、株式会社ドコマップジャパンの登録商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社ドコモCS
千葉支店
法人営業部
TEL:043-301-0170

「次世代モビリティーを活用した実証実験」概要

1. 目的

海浜幕張エリアを対象とした次世代モビリティーサービスの事業化に向け、車両技術検証やサービス検証を実施します。

2. 実証期間および実証場所、実証内容

I. 屋内実験 電動小型モビリティー「ILY-Ai」の自動運転

期間：2019年12月10日(火)～2019年12月12日(木)

場所：イオンモール幕張新都心 グランドモール1F

実証内容

【自動運転走行】

- ・自動運転技術の精度検証

(一般客の試乗時の自動ブレーキ発動確認、車両乗り捨て後の自動運転など)

【屋内位置測位技術実証】

- ・Location Netによる測位精度検証

【画像認識技術実証】

- ・人工知能によるカメラ画像解析を用いた不審物の検知



＜ILY-Ai(アイシンノーマルモデル) :2台＞



- ・来店者の試乗

＜ILY-Ai(アイシン知能化モデル) :1台＞



- ・近距離自動運転のデモ

＜ILY-Ai(千葉大学モデル) :1台＞



- ・自動運転走行の体験
- ・屋内位置情報の測位
- ・カメラによる不審物の検知

II. 屋外実験 次世代型電動車椅子「WHILL Model C」のシェアリングサービス

期間：2019年11月28日(木)～30日(土)

※11月9日(土)、10日(日)、13日(水)、14日(木)、15日(金)にも実施

場所：JR海浜幕張駅南口 / 幕張メッセ / イオンモール幕張新都心

実証内容

【需要調査】

- ・市民や買い物客向けパーソナルモビリティの需要調査
- ・モビリティ設置場所や適正台数の検証

【課題抽出】

- ・街中走行における環境課題の検討(駐車スペースや歩道スペースなど)



4. 四者の役割

- アイシン精機：次世代型モビリティ(ILY-Ai)の提供
- 千葉大学：自律走行エンジンモジュールの提供
- イオンモール：実証実験フィールドの提供
- ドコモ：プロジェクト全体管理、位置情報端末(DoCoMAP)の提供、
屋内位置情報端末(Location Net)の提供